

令和2年度指定管理業務 評価票

1 基本事項

(1)公の施設の名称	柵口温泉権現荘
(2)施設の設置目的	地域住民の福祉及び都市と農山村の交流促進に資すること。
(3)所管部署	能生事務所
(4)指定管理者	株式会社能生町観光物産センター
(5)指定期間	令和2年4月1日から令和5年3月31日までの3年間
(6)主な事業	①日帰り入浴施設の管理運営に関する業務 利用申込の受付等・利用料金の徴収・管理業務、利用客の安全安心の確保、利用客への各種サービスの提供、施設、設備、器具及び備品の維持管理 ②温泉宿泊施設の管理運営に関する業務 利用申込の受付等・利用料金の徴収・管理業務、利用客の安全安心の確保、利用客への各種サービスの提供、施設、設備、器具及び備品の維持管理 ③その他の業務 自主的に行う事業

2 管理運営状況

(1) 令和2年度管理運営状況（主要な取組・成果、地域貢献等の実績）																							
●大浴場（男女）・露天風呂（男女）・丸の湯・楽の湯、合計6つの浴場を有し、日帰り及び宿泊のお客様が心身ともに癒される健康増進の温泉として、気持ち良くご利用いただくために脱衣場の清潔感に十分配慮し、ご利用いただいた。 ●地元能生漁港水揚げの鮮魚を中心とした新鮮な海の幸を活用した料理を、日帰り宴会、宿泊時の料理や昼食等、様々な調理方法を駆使し、ご満足いただけるようご提供した。 ●地元スキー場と連携して、要望の多いリフト券の割引付プランや日帰り入浴券付のリフト券を販売するなどして、相乗効果でスキー場及び柵口温泉の利用を促すとともに、交流人口の拡大に努めた。 ●柵口温泉郷の伝統行事である、ジオサイト権現岳登山の運営に参加した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で前日の神事の実施となったが、神事の進行役を務めさせていただき、参加者との交流を深めた。 ●能生地域の老人クラブや地区毎の宴会、敬老会など、日帰り宴会のできる温泉として地域貢献を主たる目的とし、地域振興や地域活性化に資する活動を行ったが、自粛傾向の中でわずか数件をお手伝いする形となった。 ●上南地区及び能生ライオンズクラブと合同で能生谷地域の見どころ整備及び環境整備活動として桜の苗木植樹を行った。（次年度以降も継続予定） ●新しい生活様式にマッチしたサービスの提供の一環として、通信販売サイトの運用を開始し、令和2年10月～12月にはマリンドリーム能生と合同で誘客し、通販サイト利用促進キャンペーン「豊漁大感謝祭」を開催して交流人口・関係人口拡大を図り、多くの利用者を楽しんでいただいた。 ●コロナ禍による新たなニーズの獲得策として「テレワーク・ワーケーションプラン」の販売を開始した。																							
(2)利用状況																							
（単位：人） <table><tr><td></td><td>平成30年度</td><td>平成31年度（令和元年度）</td><td>令和2年度</td></tr><tr><td>指定管理者名</td><td>能生町観光物産センター</td><td>能生町観光物産センター</td><td>能生町観光物産センター</td></tr><tr><td>総利用者数</td><td>59,591</td><td>56,164</td><td>27,635</td></tr><tr><td>宿泊利用者数</td><td>7,986</td><td>7,958</td><td>6,786</td></tr><tr><td>日帰り利用者数</td><td>51,605</td><td>48,206</td><td>20,849</td></tr></table>					平成30年度	平成31年度（令和元年度）	令和2年度	指定管理者名	能生町観光物産センター	能生町観光物産センター	能生町観光物産センター	総利用者数	59,591	56,164	27,635	宿泊利用者数	7,986	7,958	6,786	日帰り利用者数	51,605	48,206	20,849
	平成30年度	平成31年度（令和元年度）	令和2年度																				
指定管理者名	能生町観光物産センター	能生町観光物産センター	能生町観光物産センター																				
総利用者数	59,591	56,164	27,635																				
宿泊利用者数	7,986	7,958	6,786																				
日帰り利用者数	51,605	48,206	20,849																				
(3)施設の設置目的達成に関する取組																							
●コロナ感染が拡大する中で感染防止対策として、まずスタッフの体調管理、手洗い、アルコール除菌の徹底、日帰り入浴、宿泊のお客様について代表者様の名簿記入及び全員の検温の実施、さらに宿泊のお客様へアルコール除菌スプレーボトル、マスクケースを差し上げるなど衛生管理に努め、安全で安心してご利用頂ける施設を目指した。 ●4月より高齢者いきいの家制度をスタートして健康増進、交流の場としてご利用頂いた。 ●コロナ禍で各イベントが中止になる中、地元のかまくら祭りに参画し、イベント当日に宿泊客を会場へ送迎してかまくらを体験いただき、地域の皆様との交流を図り、地域の活性化に取り組んだ。 ●月例イベント「風呂の日」、季節イベント「こどもの日」「母の日」を実施、抽選会や該当者に心ばかりのプレゼントを贈り、日頃の感謝と交流に努めた。																							

(4) 収支状況

区分			30年度		31年度(令和1年)		令和2年		令和3年度(予算)
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
営業利益	売上高	商品売上高							
		賃貸料収入							
		権現荘売上	185,000,000	175,392,816	191,500,000	171,817,825	121,200,000	134,811,071	164,000,000
		入場料・手数料等収入	500,000	522,772	500,000	465,404	300,000	243,340	300,000
		施設管理受託料						32,235,665	
		案内業務受託料							
		小計	185,500,000	175,915,588	192,000,000	172,283,229	121,500,000	167,290,076	164,300,000
	売上原価	期首棚卸高	6,358,000	6,358,005	9,368,000	9,367,963	12,036,000	12,035,990	8,801,020
		商品仕入高	13,000,000	11,852,301	12,500,000	12,856,633	8,000,000	7,668,419	7,500,000
		食材等仕入高	41,000,000	45,287,259	44,000,000	44,517,954	34,500,000	35,216,431	38,000,000
		不良品原価					0		
		仕入値引戻し高					0		
		期末棚卸高	3,000,000	9,367,963	4,500,000	12,035,990	5,500,000	8,801,020	7,800,000
		小計	57,358,000	54,129,602	61,368,000	54,706,560	49,036,000	46,119,820	46,501,020
		売上純利益	128,142,000	121,785,986	130,632,000	117,576,669	72,464,000	121,170,256	117,798,980
	販売費一般管理費	販売員給与・賞与	40,000,000	49,110,768	49,000,000	47,494,216	47,000,000	45,964,738	45,000,000
		案内業務人件費							
		役員報酬						1,500,000	1,500,000
		管理者給与・賞与	7,000,000	2,079,016	2,000,000	902,276	1,000,000	982,860	1,000,000
		厚生費	7,200,000	8,520,985	7,200,000	6,786,669	7,500,000	6,664,112	6,600,000
		その他の人件費						62,100	
		旅費	60,000	324,288	350,000	153,872	120,000	66,896	50,000
		広告宣伝費	3,500,000	3,590,495	3,600,000	4,143,860	2,800,000	6,437,705	4,800,000
		容器包装費	200,000	177,402	150,000	270,862	200,000	204,584	200,000
		発送配達費	10,000	20,343	50,000	23,862	20,000	361,256	400,000
		支払い手数料	3,000,000	3,612,898	4,000,000	4,256,102	2,600,000	7,924,305	7,300,000
		その他販売費	250,000	510,128	600,000	488,062	300,000	432,212	250,000
		販売促進費	7,000,000	8,820,992	4,200,000	5,512,788	3,500,000	7,385,495	6,000,000
		減価償却費		28,800		57,600	50,000	57,600	60,000
		地代家賃・リース料	1,500,000	1,570,384	1,600,000	2,148,540	1,600,000	1,855,308	2,000,000
		修繕費	1,000,000	1,360,530	1,500,000	2,320,575	900,000	1,605,230	1,600,000
		事務用消耗品費	800,000	667,770	650,000	634,061	500,000	1,219,203	700,000
		通信交通費	2,000,000	1,622,359	1,650,000	1,170,432	1,000,000	1,276,305	1,100,000
		水道光熱費	27,000,000	29,853,078	30,000,000	30,217,587	24,000,000	26,875,663	27,000,000
		租税公課	100,000	183,950	184,000	112,600	100,000	53,163	100,000
		接待交際費	100,000	138,014	150,000	101,716	100,000	16,815	30,000
		保険料	700,000	664,368	670,000	619,265	620,000	669,470	670,000
		備品消耗品費	5,000,000	5,185,321	5,400,000	4,043,516	3,500,000	5,373,936	4,200,000
		管理諸費	13,500,000	12,292,845	11,500,000	10,512,939	10,000,000	9,793,761	9,800,000
		寄付金	10,000						
		イベント費				82,316		1,245,825	1,000,000
		衛生費	3,500,000	3,069,730	3,500,000	3,072,004	2,400,000	2,657,022	2,800,000
		不良品・たな卸増減							
		雑費	2,000,000	1,912,200	2,000,000	1,359,952	1,000,000	787,840	700,000
		小計	125,430,000	135,316,664	129,954,000	126,485,672	110,810,000	131,473,404	124,860,000
	営業利益		2,712,000	-13,530,678	678,000	-8,909,003	-38,346,000	-10,303,148	-7,061,020
	利益率(売上高営業利益率)								

3 適正な管理運営の確保

目標管理	評価指標	利用者の安全確保と適正な施設管理
	目 標	利用客の事故ゼロ、食中毒ゼロ、水質由来事故ゼロ
	実 績	事故「0」

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・施設の設置目的を十分に理解し、適正な管理運営をしているか。	・コロナ感染防止、食中毒予防のための衛生管理の徹底、地元スキー場との連携、地場産鮮食材を使用した料理の提供や通販商品で地域振興及びPRに努めた。 ・各イベントを通じて健康増進及び地域の活性化に努めた。3月に発生した来海沢土砂災害の避難者を受け入れて、公の施設としての役割を果たした。
	・誰もが利用できる仕組みを構築し運営しているか。	・全ての皆様が安心・安全に施設利用できるように車椅子、シルバーカー、杖を玄関に配置した。また、車椅子ユーザーの方にも不自由をかけないよう、特製スロープを用意している。 ・丸の湯はバリアフリーになっており、車いすユーザーやマタニティ、子育て世代のご家族などに有料貸切風呂としても利用いただいている。
	・協定書及び仕様書等に基づいて設備の保守点検や備品の点検を適正に実施しているか。	・整理整頓の徹底と毎日のスタッフ及び宿直職員館内巡回を実施している。 ・法定点検の確実な実施と定期的な自主点検を実施している。 ・衛生管理の徹底と日々の清掃を実施している。
	・協定書、事業計画書等で定めた職員体制がとられているか。	・施設内の連絡及び当日の顧客情報を共有するため、毎日ミーティングを実施している。ミーティングの場にて、接客の資質向上の基本となる挨拶唱和を行い、徹底を図っている。それに加え、事業計画で定めた適切な人員配置により、お客様満足度の向上を図っている。
	・利用者が安全、安心して利用できるような緊急・救急体制を有しているか。	・フロント・厨房・サービスの各部からのヒヤリハットの報告により、危険防止及びリスク情報の共有を図り、緊急時には消防計画に基づいた緊急体制が迅速に取れるよう対処している。また、11月30日に救急救命講習を受け、権現荘スタッフ全員が講習を修了し、認定証を取得した。
	・事故防止や事故発生時の対応について研修等を実施しているか。	・年2回の休館日に合わせ、地元消防署より講師を招いて消防訓練、救命講習・AED操作訓練などによるリスク対応訓練を実施している。
利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応		ネットの口コミには迅速に対応し、可能なものは速やかに実行している。各部屋に宿泊アンケート用紙を設置し、貴重な意見を反映させるために毎日のミーティングにて報告を行い、情報共有と指摘事項の改善やモチベーションアップを図っている。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	A +	A -
	評価理由	令和2年の2月から流行し始めた新型コロナウイルス感染症にできる限りの対策を講じて、お客様に安全に、安心してご利用いただけるように努めた。快適に非日常の空間、時間をお過ごしいただけるようお客様目線で目配り、気配りに努め、不測の事態に即対応できる体制づくりを行った結果、幸いにも大きな事故なく通常の営業を行うことができた。	・誰もが利用できる、バリアフリーを意識した運営を行っている。 ・コロナ禍に対応して空気清浄機設置などの独自の取組が行われている。 ・消防訓練、救急救命講習全員受講など危機管理、緊急時対応の意識向上に努めている。 ・大きな事故、苦情が無く営業できている。
	改善事項	全職員が同様の対応ができるよう、さらなる感染予防対策の徹底、マニュアル内容の再確認、救急訓練など、職員が不測の事態に対応できるように危機管理意識の向上と継続を図る。	・付近の住民から権現荘敷地の雑草管理や降雪時の除雪（雪捨て）で苦情があるので注意願いたい。

【評価基準】

ランク	目標達成率(%)	判断基準
AAA	115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの
AA	105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの
A	A+	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの
	A-	
B	80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの
C	80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの

4 利用者サービスの向上や利用者数増の取組

目標管理	評価指標	利用者数の増加		
	目 標	宿泊利用者数10,000人、日帰り利用者数60,000人		
	実 績	宿泊利用者数6,786人、日帰り利用者数20,849人		
資料		平成30年度	平成31年度(令和1年度)	令和2年度
	宿泊利用者数 日帰り利用者数	7,986人 51,605人	7,958人 48,206人	6,786人 20,849人

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・施設の設置目的を達成するための具体的な取組があったか。	・日帰り入浴の応援プラン及び付加価値を付けた新プランの販売を行った。月1回の全体及び日々のミーティングでの情報共有と社員の意識改革とソフト面の強化を図った。
	・利用促進に向けた取組に努めているか。実現可能な利用促進策を実施しているか。	・季節プランの設定、G o T oキャンペーンに合わせたDMやメール送信、特典等付加価値を付けた単価アップの誘客を促した。コロナ禍で訪問営業はできなかったが、地元老人クラブ・企業への日帰り宴会、ケータリングのチラシ送付や市内折込を実施した。また、旅行社のプレゼンに出席し、県内修学旅行誘客のためのPRを行い、1組の申込みにつながった。
	・教室、イベント、自主事業などの取組状況	・毎月26日を「風呂の日」として、来館動機づけを行った。 ・マリンドリーム能生と合同誘客及び通販サイト利用促進キャンペーン「豊漁大感謝祭」を開催した。
	・利用者数増加のためのPR活動は実施しているか。	・ツイッター・LINE・ホームページからの情報発信を最大限利用し、誘客を行った。 ・マリンドリームとの合同広告やDM、合同の営業活動実施による効果的な権現荘のPRを実施した。 ・通販サイトPRによる関係人口の拡大策を実行した。
	・利用者アンケート等を活用し利用者の要望や意見を把握しているか。また、対応策を講じているか。	・アンケートで貴重な意見収集に努め、利用者満足度向上を図るための施策、改善を行っている。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	A+	B
	評価理由	コロナ禍で、外部営業活動ができない中において、過去の利用顧客へのDM、メール配信やネットに魅力あるプランを打ち出した。G o T oキャンペーン実施中では、11月に単月として近年にない売上を上げた。口コミ評価もかなりポイントアップすることができ、権現荘の知名度アップにもつなげることができた。	・職員によるDMの手配り投函（郵便受けに入れる）の取組の効果が出ている。 ・会員登録のアナウンスは、ホームページ上に出ているが、分かりにくい。 ・LINE登録についても分かりにくく、権現荘のフロントに行かないと2次元バーコードがない。
	改善事項	口コミ評価もアップはできたが、広告宣伝費、販売促進費もかなりアップしてしまった。今後広告宣伝を打つタイミングと販促の見直しを行い、経費削減と利益確保に努める。	・毎月26日の「風呂の日」のメリットが分かりにくい。 ・インターネット宿泊予約サイトの利用を促進した結果、それに伴う広告宣伝費と利用時の手数料がかさむ結果となった。直営のホームページからの予約増を促す仕掛けを検討すること。

【評価基準】

ランク		目標達成率(%)	判断基準
AAA		115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの
AA		105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの
A	A+	100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの
	A-	95%以上 100%未満	
B		80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの
C		80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの

5 収支や収益の向上に関する取組

目標管理	評価指標	安定的な経営と運営																			
	目 標	経常収支の黒字化																			
	実 績	当期収支 0 円（営業損失△11, 773千円であるがコロナ禍対策に係る各種助成金等有り）																			
資料		■収入 令和2年度 単位:千円										■収支 令和2年度 単位：千円									
		項目		計画		実績		達成率		売上高		134,811									
		宿泊		55,170,000		34,795,363		63.1%		施設管理受託料		32,236									
		日帰り		23,400,000		10,078,645		43.1%		売上原価		46,119									
		利用料金計		78,570,000		44,874,008		57.1%		売上総利益		121,171									
										販売費及び一般管理費		131,473									
										営業損益		-10,302									
										営業外損益		-1,471									
										当期純利益		-11,773									
										雇用調整補助金、国庫等補助金		11,773									
										税引前純利益		0									

実施状況	点検項目		【実施状況】	
	・施設の設置目的に沿った経費の執行ができたか。		・勤務シフトの調整、食材仕入れなど経費削減に努めた。広告宣伝、販売促進費は予算及び昨年実績を大きく上回った。昨今宿泊予約の6割がネットからである。権現会員を増し、自社HPサイトからの予約アップを目指すとともに、口コミ評価を上げることに努めた。	
	・利用料収入の目標達成度		・目標値の達成率57.1%、金額は33,695千円下回った。収支は35,459千円の施設管理受託料（リスク分担補填）合わせ収支0円であった。	
	・収入増加のための取組を実施しているか。		・新しい生活様式にマッチした通信販売サイトの運用を開始した。 ・マリンドリーム能生と合同で誘客及び通販サイト利用促進キャンペーンを実施した。 ・効果が高いDMは、継続的に送付を実施した。その他、近隣県への営業活動及び大都市商談会へのリモート参加をし、積極的に集客活動を行った。	
	・収支決算書は適正に作成されているか。		・収支決算は、毎月会計事務所の監査を受けており、適正に処理されている。	
	・経費削減や業務の効率化に取り組んでいるか。		・可能な限り時間内に業務が終わるよう仕事内容を改善し、加えて光熱費削減の意識を全員で持つことにより、全体経費削減に努めた。新電力会社へ契約変更して電気料削減を図った。	

評価等	評価	指定管理者の自己評価		市の評価	
		A－		B	
	評価理由	新型コロナウイルス感染症という不測の事態の中で、感染防止対策に全力を挙げると同時に、休館日設定やスタッフの勤務調整を行い、雇用調整助成金等を最大限に活用する努力をした。また、お客様の誘客、売上げアップを目指し、注力したWEB対策では、8月から11月までじゃらんの閲覧県内NO1を達成した。加えて、大幅な客単価アップも図ることができた。しかし、年末からのGOTOキャンペーンの一時停止が、年度末まで大きく影響した。		・マリンドリーム能生との連携、合同イベント、誘致事業（通販サイト）を行っている。 ・隣接県への営業活動、大都市へのリモート商談活動は評価できる。 ・コロナ禍の対応として、休館日を設けて雇用調整助成金を活用しているほか、国県の各種助成金等を活用している。 ・市内の誘客営業活動が不足している。 ・固定費を削減する取組が不足している。	
	改善事項	広告宣伝、販売促進費や食材原価などまだまだ見直し、工夫が必要である。経済状況に合わせた広告宣伝の掲載やお得感のある宿泊特典、新料理メニュー提案などを行い、適正な原価率の維持や経費削減に努めていく。		・コロナ禍の中、在庫管理が困難ではあるが、賞味期限切れ等の食材廃棄ロスの改善。 ・固定費の削減。特に対前年度比で大幅に増加している広告宣伝費、販売促進費等の見直し。	

【評価基準】

ランク		目標達成率(%)	判断基準
AAA		115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの
AA		105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの
A	A＋	100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの
	A－	95%以上 100%未満	
B		80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの
C		80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの

6 公の施設の設置目的と全体評価

		市の評価			
検 証 等	評 価	設置目的	目標管理（評価指標）の再掲	指標別評価	
		地域住民の福祉及び都市と農山村の交流促進に資するため、糸魚川市温泉施設権現荘を設置する。	利用者の安全確保と適正な施設管理	A－	
			利用者サービスの向上	B	
			安定的な経営と運営	B	
		評価内容			総合評価
		・ 日帰りの温泉施設は地元の方が多く利用しており、地域住民の福祉に寄与しているが、収益の中心となる宿泊客が減少している。 ・ 従業員は地元雇用し、食材は指定管理者が運営するマリンドリーム能生から仕入れるなど地元からの調達をしており、地域振興及び地場産業の振興に寄与している。 ・ 施設の管理状況については、ほぼ良好な施設管理を行っている。 ・ 収支に影響が大きい宿泊者数は、コロナ禍が主たる理由ではあるが、目標を達成することができなかった。 ・ 上記及び指標別評価を総合的に判断し、収支改善面での取組課題があることから、総合評価をBとした。			B
課題検証	・ 宿泊利用者数増加に係る取組課題 ①インターネット宿泊サイトに偏った販促展開により広告宣伝費、販売手数料がかさんでいる。インターネットの販促展開策を改める必要があるのではないか。 ②スキー客はもとより、ゴルフ客、バイク・自転車ツーリング、ランナーなど、能生地域資源を活用した多様な切り口から宿泊に結び付ける仕掛けが不足している。 ③宿泊に限らず、日帰り客の誘客（動機付け）に結び付ける営業が不足している。 ・ 経費削減に関する取組課題 ①コロナ禍で管理が困難ではあるが、本部と連携を十分にとり、食材等の仕入れ管理の工夫が必要。 ②コロナ禍で集客が困難である以上、固定費の削減が急務である。広告宣伝費、販売促進費等の見直しが必要。				
	改善事項	・ 宿泊利用者数増加に係る取組 能生地域の特徴的な強みを活かして誘客（動機付け）になる仕掛けを、インターネットを絡めて営業展開を検討すること。他力本願的な受身のスタイルから、知恵を絞った攻めの誘客企画に取り組むこと。そのことを社員一人一人が営業マンになって取り組むこと。 リピーターを増やすこと。肝は顧客視点である。自分が宿泊したら何を思うか。不足していること、逆に不要なことをお客様目線で捉えて改善を図ること。 ・ 経費削減に関する取組 経費削減の大前提は、「自分事で捉えること」。自身の家計であればどう判断するのか。従業員全員が経営者の意識で考えてほしい。無駄を抑えて、収入を増やす努力は、意識の変化無しでは困難。今一度、商いの基本に立ち戻って意識を変えて取り組むこと。			

【総合評価】

評価区分	判断基準
AAA	優良である
AA	良好である
A	適正である
B	課題がある
C	改善を要する

公の施設指定管理者選定委員会（評価委員会）の意見書

1 指定管理者名 株式会社能生町観光物産センター

2 対象施設 柵口温泉権現荘

3 評価委員会の意見

項目	意見
対象施設に対するもの	・雑草管理、排雪の処理についての苦情には適切に対応している。引き続き、適正な処理に努めること。 ・食堂の利用促進について、積極的に取り組むこと。様々な施策を行っても効果が表れない場合は、外注や自動販売機による対応も含めて検討すること。 ・大手旅行予約サイトの利用に係る経費については、積極的な経費であり、致し方無い部分もあるが、自社サイトからの予約を促進することで、削減を図ること。 ・大手旅行予約サイトにおいて高評価であることは、努力を非常に感じる。 ・利潤の追求に傾倒することで、施設の規模、目的に見合わない余計な支出が生じているようなことはないか。そうした視点で分析することも必要である。
指定管理施設全体に対するもの	・コロナの影響に対する補填については、一律に赤字部分全てを補填するのではなく、それまでの収支実績や支出の削減努力を考慮して判断することが望ましい。 ・現状の協定に基づいてコロナの影響を不可抗力とし、指定管理者側に負担を求めないとしていることについて、協定の改正などを含めて、よく検討してほしい。 ・コロナ陽性者が出た場合の対応等について、費用負担も含めて事前に定めておくこと。